

大阪損保革新懇三二二ス

No.91
2008.2.22

大阪損保革新懇事務局
大阪市中央区道修町三・三・一〇
大阪屋道修町ビル3F0六・六二二二・一〇九五

シンポジウム

「国民生活に軸足をのいた損保代理店・外勤社員

そして共済の社会的役割を考える」実行委員会が発足

特別報告に品川正治氏決定

多くの仲間の参加を呼びかけます

日時 2008年4月24日(木) 午後6時半開会

会場 AAホール(中央区淡路町3丁目)

内容 ①特別報告 『金融・損保産業の現状をどう見るか』

報告者 品川正治氏 国際開発センター会長 経済同友会終身幹事

②基調報告 『各社の募集網効率化政策の特徴と問題点』

報告者 松浦章氏 大阪損保革新懇世話人 兵庫県立大学大学院

③パネル報告 『真の顧客サービス提供実現のために』

報告者 各層代理店 外勤社員 各種共済 損保営業社員など

参加協力費 1000円

主催 保険と共済を考えるシンポジウム実行委員会 事務局 大阪損保革新懇

仲間のみなさん

この数年、自民・公明連立政権がすすめてきた規制緩和・市場原理主義の経済路線のもとで日本全体の経済と産業のあり方が大きく変貌し、労働者の雇用と労働条件についても異常な悪化がすすみました。この結果、社会的格差が広がり、新たな貧困層を作り出し、21世紀の日本社会と経済の健全な発展に深刻な事態が懸念される情勢が生まれています。

損保産業でも大型合併・再編が進み、収入規模拡大・利益第一主義の競争が繰り広げられ、保険料取りすぎ・保険金不払い問題など深刻な問題を引き起こしています。合理化・効率化の一環として営業店舗や正規従業員の大幅な削減政策が実行され、雇用の多様化も進められました。さらに代理店の大幅削減と代理店手数料の引き下げや外勤社員の制度と雇用に対する合理化攻撃も強まりました。

私たちは今年結成十周年の活動を展開するに当たって、今までも強い問題意識を持ちながらもなかなか取り上げられなかった募集網・代理店・外勤問題について真正面から向き合って取り組もうということになりました。討議の結果、シンポジウム『国民生活に軸足をのいた損保代理店・外勤社員そして共済の社会的役割を考える』の開催と成功をめざすことを決定し、実行委員会結成を代理店・外勤社員・共済関係者に呼びかけました。さらに過去3回、大阪損保革新懇で講演していただいた品川正治氏にお目にかかり、今回のシンポジウムの主旨を報告し、特別報告をお願いしましたことをご快諾いただきました。

2月21日開催した第一回シンポジウム実行委員会には各層代理店・外勤社員・共済関係者・損保現役・損保OBなど20名の参加で熱心に討議をおこない、右のとおり、シンポジウムの開催を決定しました。今後、さらに実行委員会でのシンポジウムの内容について討議をおこなっていきます。

職場の仲間、近くの代理店、知り合いの代理店、外勤社員、共済組合員などにも声をかけ、誘ってくださいますようお願いいたします。

私たちも憲法9条を守ります。一緒に歩きましょう。

3月9日(日) 中央区9条の会御堂筋パシード 12時 中ノ島・女神像前集合